

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	さかい子育て応援団事業			シート番号	014-001
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども企画
				課	評価責任者(課長名)
					櫻田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	社会全体で子どもをはぐくむ仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	無			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して楽しく子育てできる環境をつくるため、行政による直接的な子育て支援事業に加え、企業・団体などを含めた地域社会全体で子育て家庭を応援する仕組みを構築することが求められている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	子育て家庭を応援する取り組みをしている堺市内の企業・団体等。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	社会全体で子育てを応援する機運を醸成するため、市民・企業・団体など地域社会全体で子どもや子育て家庭を応援する仕組みを構築する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・子育てを応援する取り組みを行っている企業・団体等に対し、「さかい子育て応援団」の事業PRを行う。 ・応援団の登録を決定した企業等への応援団ロゴマーク入りステッカー等を交付する。 ・登録団体等の取組みについて、ホームページやフェイスブックページ、子育て応援アプリ等を活用して、市内の子育て家庭等へ情報を発信する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費(a)	千円	642	471	659	40	590	0	540	
主な事業費内訳	印刷製本費	千円	83	9	100	40	90	0	90
	委託	千円	559	462	559	0	500	0	450
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
一般財源	千円	642	471	659	40	590	0	540	
12 人件費(b)	千円	2,630	2,630	2,800	2,800	2,430	2,770	2,960	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,272	3,101	3,459	2,840	3,020	2,770	3,500	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	さかい子育て応援団事業	シート番号	014-001
-------	-------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>子育てを応援する取り組みを行っている企業等へ、各種事業者向け講習会や市ホームページ等を通じて応援団登録を呼びかけ、17団体が新規登録に至った。(15団体が閉店等で脱退したため、実績としては2団体増加) 令和2年3月末時点で市内322団体が登録しており、また各団体等の取組みを、市ホームページやフェイスブックページ、子育て応援アプリ等を活用して、市内の子育て家庭等へ情報発信を行っていることから、地域社会全体が子育てを応援しようとする機運の醸成につながっており、安心して子どもを生み育てることができる環境整備を推進できている。</p>						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		さかい子育て応援団の登録数	団体	目標値	500	500	500	500
				実績値	405	320	322	322
				達成率	81%	64%	64%	64%
評価	普通			少し悪い	少し悪い	少し悪い		
算出方法・設定根拠など		子ども子育て支援事業計画に定める目標値を設定						
16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	目標値							
	実績値							
	達成率							
		評価						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	さかい子育て応援団の登録数	団体	405	320	322
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,101	2,840	2,770
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	7,657	8,875	8,603
	備考(算出についての説明等)					
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
<p>事業者向け講習会において応援団登録を呼びかけると同時に登録団体の情報整理を実施した。登録団体には、特に推進したい3つのサービス提供(授乳スペース、おむつ替えスペース、ミルクを作るためのお湯提供)をはじめ、市の子育て支援情報発信、市の子育て支援イベント(アプリでスタンプラリー)への参加など、多方面で協力いただき、地域社会全体で子育てを応援しようとする機運の醸成のために有効となる事業として実施できたと思われる。</p> <p>閉店や市外移転などによる登録団体の減がある中で、子育て家庭が利用しやすいサービスの提供団体が広がるよう、目標の登録団体数を達成するための効果的な開拓方法が課題である。</p>	

- 【分析のチェックポイント】**

 - 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	さかい子育て応援団事業	シート番号	014-001
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 現在、登録団体が独自で取り組んでいる子育て応援サービス(授乳スペース、おむつ替えスペース、ミルクを作るためのお湯提供など)や市が実施しているサービスを一元的に紹介しているため、事業を廃止した場合、民間団体の子育て応援する取組みが子育て家庭に十分に伝わらない可能性がある。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 Q20のとおり。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 登録団体が独自で取り組んでいる子育て応援サービスの情報発信については、既に運用している仕組みの中で対応可能である。登録団体の新規開拓を一時的に休止することで、開拓のために活用を想定していたコストを縮減できる。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 登録申請や状況把握においてメール、電子申請システムを利用しており、事業手法は適切である。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (保健所) 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 公民連携事業であり、登録申請や状況把握においてICT活用の改善済(メール、電子申請システム)である。子ども連れで利用することが多い「美容院」や「飲食店」などへ登録を呼びかけるために、各種事業者向けの講習会において、事業PRを継続的に行う。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	地域社会全体で子育てを応援しようとする機運を醸成するため、応援団登録団体数を拡大させる必要がある。登録団体の子育てを応援する取組みについて、認知度の向上が求められる。 さかい子育て応援団フェイスブックページやさかい子育て応援アプリによる情報発信を強化することで、団体の取組みの認知度の向上を図る。また、効果的な事業PRの方法について、関係部署と連携し事業PRを行っていく。		